

【重点分野－3】 連合「なんでも労働相談ホットライン」(☎0120-154-052)
2020年7月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で1,499件の相談が寄せられ、昨年の1,146件より1.3倍となり、353件増加であった。年代別では、40代、50代が全体の半数以上を占めた。
- 業種別については、4カ月連続で「サービス業（他に分類されないもの）」（182件・17.9%）が最も多かった。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」（221件・14.7%）が4カ月ぶりに1位となり、「解雇・退職強要・契約打切」（195件・13.0%）、「雇用契約・就業規則」（116件・7.7%）が続いた。
- 具体的な相談では、「コロナ禍の影響で、以前は時差出勤が認められていたが、8月に入り人手不足を理由に認められなくなった」、「コロナ禍の影響で自分も含め20名近くが退職に応じたが、その後その会社が業績拡大のために人員を募集していることを知り、納得できない。不当解雇だったのではないか。」といった、依然としてコロナ禍の影響に関する相談が寄せられた。

		2020年			2019年		
集計対象期間		7月1日～7月31日			7月1日～7月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,499			1,146		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目		内容	件数	割合	内容	件数	割合
性別 (未報告除く)		男性	712	47.5%	男性	576	50.3%
		女性	784	52.3%	女性	569	49.7%
		その他	3	0.2%	その他	1	0.1%
年代 (不明除く)		10代	11	1.3%	10代	6	0.8%
		20代	92	10.5%	20代	79	11.1%
		30代	142	16.2%	30代	163	22.9%
		40代	256	29.2%	40代	192	27.0%
		50代	239	27.3%	50代	171	24.1%
		60代	106	12.1%	60代	87	12.2%
		70代	30	3.4%	70代	13	1.8%
雇用形態 (未報告除く)		正社員	701	46.8%	正社員	564	49.2%
		パートタイマー	282	18.8%	パートタイマー	171	14.9%
		アルバイト	81	5.4%	アルバイト	69	6.0%
		契約社員	135	9.0%	契約社員	104	9.1%
		臨時・非常勤職員	10	0.7%	臨時・非常勤職員	6	0.6%
		嘱託社員(再雇用含)	18	1.2%	嘱託社員(再雇用含)	7	1.7%
		派遣社員	103	6.9%	派遣社員	86	7.5%
		その他	168	11.2%	その他	126	11.0%
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	182	17.9%	医療・福祉	150	19.4%
	2位	医療・福祉	171	16.8%	サービス業(他に分類されないもの)	137	17.7%
	3位	製造業	149	14.7%	製造業	115	14.9%
	4位	卸売・小売業	120	11.8%	卸売・小売業	84	10.9%
	5位	飲食店、宿泊業	94	9.2%	運輸業	67	8.7%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	221	14.7%	パワハラ・嫌がらせ	193	16.8%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	195	13.0%	雇用契約・就業規則	104	9.1%
	3位	雇用契約・就業規則	116	7.7%	解雇・退職強要・契約打切	101	8.8%
	4位	休業補償	82	5.5%	年次有給休暇	83	7.2%
	5位	退職手続	78	5.2%	退職手続き	81	7.1%
情報源・ルート (不明除く)		新聞・雑誌	30	2.3%	新聞・雑誌	15	1.5%
		ラジオ・テレビ	43	3.2%	ラジオ・テレビ	12	1.2%
		ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	67	5.0%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	68	6.8%
		ホームページ	886	66.6%	ホームページ	695	69.0%
		SNS(フェイスブック・ツイッター)	9	0.7%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	6	0.6%
		紹介	154	11.6%	紹介	82	8.1%
		その他	141	10.6%	その他	129	12.8%

【参考】2020年7月 連合本部 インターネット労働相談受付件数112件